



特集！災害ボランティアセンターの設置・運営訓練を実施！

地域の受援力向上と
被災者支援の充実をめざして



←本会Instagramでも紹介しています。



場所：アビエス

令和8年10月18日（日）、最上広域交流センターゆめりあ、アビエス等において、「山形県・新庄市合同防災訓練」が開催されました。

本訓練は、災害時における防災活動の円滑化を期すとともに、関係機関相互の協力体制の強化を図り、あわせて地域住民の防災への理解と防災意識の高揚を図ることを目的としています。

本会では、災害ボランティアセンター設置・運営訓練を実施しました。

災害ボランティアセンターは、地震・豪雨などの災害発生時に、地域内外から寄せられるボランティアの力を受け入れ、被災者支援につなげるための拠点です。行政による公的支援だけでは対応しきれない「生活支援ニーズ」を補完する役割を担い、新庄市社会福祉協議会が中心となって設置・運営します。

今回は新庄市成人福祉課と連携して訓練を行い、ボランティア役として市内の川西町町内会の皆さまにご協力をいただきました。

訓練では、災害ボランティアセンターの基本的な運営工程である ①ボランティアの受付、②オリエンテーション、③支援ニーズの確認とボラン

ティア活動先の調整・決定（マッチング）、④活動に必要な資機材の貸し出し・配布の4工程を実施しました。

災害ボランティアセンターの設置・運営訓練により、災害時の初動対応の迅速化、ボランティア受入れ手順の標準化、実災害時の混乱の軽減、地域全体の「受援力」の向上、被災者支援の質の向上につながるといった効果が期待されます。





「災害ボランティアセンター」受け入れから活動まで

①当日ボランティアの受付

受付では、災害ボランティアの受付作業を行います。迅速な受付となるよう、スマートフォンでQRコードを読み込み、WEB上において名前などの必要事項を記入し、センターへ送信する方法を取り入れています。



②オリエンテーション



活動内容・注意事項などを共有し、活動ルールを説明します。ボランティアの安全確保に直結する重要な工程です。

③マッチング

マッチングは、災害ボランティアと被災者を結びつけ、橋渡しする仕組みです。支援ニーズの確認とボランティア活動先の調整・決定をします。



④資機材の貸出・配布

センターでは、スコップ、一輪車など、活動に必要な物資をそろえ、ボランティアに貸出・配布します。

また、全国各地から届けられた飲料水などもお渡しして、現地への活動に送り出します。



災害ボランティアセンターマニュアルを改訂しました —災害時の支援体制をより確実にするために—

新庄市社会福祉協議会では、災害時に市民の皆さまが安全かつ円滑にボランティア活動へ参加できるよう、「災害ボランティアセンターマニュアル」を改訂しました。

このマニュアルは、災害発生時のセンター設置手順、ボランティアの受付方法、活動内容の調整のポイントなど、運営に必要な事項を体系的にまとめたものです。

市民の皆さまにも、災害時のボランティア活動の流れや注意点を知っていただくことで、いざという時に安心して行動できるようになりま

す。

地域の支え合いを強めるためにも、ぜひマニュアルをご覧ください。日頃の備えとしてお役立てください。マニュアルは新庄市社会福祉協議会ホームページに掲載しています。また、お手元のスマートフォン・タブレットから下記のQRコードを読み取り、見ることができます。

お問い合わせ

新庄市社会福祉協議会
☎ 22-5797

